

伊達市 農業委員会だより

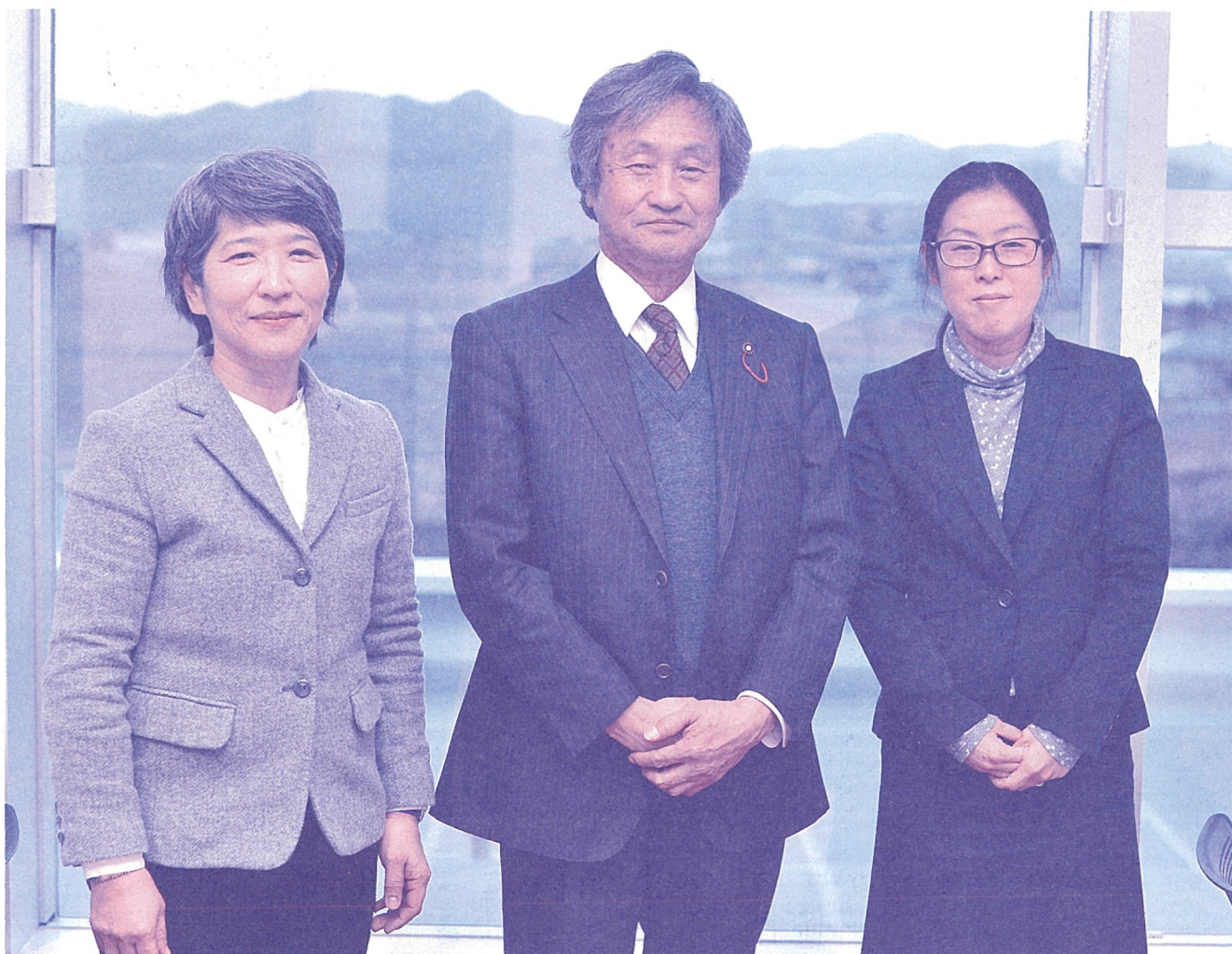
vol.

2

農業委員会法では、農業委員、農地利用最適化推進委員の任命に当たっては、青年・女性を積極的に登用することとされています。

伊達市農業委員会においても、2人の女性委員が活躍しています。

(2人の記事を2ページへ掲載)



女性ならではの視点と感性で地域農業の将来を考えていきます。ぜひ、市民の皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

(左 / 大武有子推進委員 中央 / 清野直人会長 右 / 菅野照農業委員)

もくじ

農を愛する女性..... 2

菅野照農業委員・大武有子推進委員

伊達市農作業賃金標準額表..... 3

事務局移転・農業者年金..... 4

活動報告..... 5

視察研修…今後の活動に役立つヒントが見えた

農業委員会大会

…農地利用等の具体的な取り組みや事例発表

市長へ意見書提出..... 6

意見書内容・編集後記

地域の声を聞き 女性の目線で

農業委員

菅 野 照

移住者であり新規就農3年目の私が、農業委員を引き受けていいものか？

果たして農業委員として勤まるのか不安を抱えての出発でした。

新しい土地で、農業を始めることは容易ではありません。幸い私は、農地探しなど、協力してくれた地域の方がいてくれたからこそ、新規就農することができました。

農業委員になって、各種制度など新しく知ることや、覚えることがたくさんあり、勉強の日々です。女性だからこそその気づきや出来ることはあると思います。気軽に声をかけて頂ける存在でありたいですし、いろんなことに挑戦して、その経験を自身の糧になればと感じています。

そして、これから農業を始めた方や新規就農者として移住したい方の懸け橋になっていけたらと思います。

微力ながら地域の声を聞き、女性農業者として頑張っていきます。

農を愛する女性

菅野 照

大武 有子

人と農地の 橋渡しに…

農地利用最適化推進委員
(霊山地区担当)

大武 有子

私は23年前に夫と新規参入で就農しました。当時は新規参入は珍しく、なかなか優良な農地を借りるのが困難でした。しかし当時はよそ者でしかない私達の為に農地を探して下さった篤農家Wさんや手続き等でご指導下さった農業委員会やたくさんの方々のご尽力で就農することができ、今日に至っております。

推進委員一年目でまだどうしたら良いか手さぐり状態ですが、まずは地域の農地はどうなっているのか、どうすれば優良な農地を荒らすずに保てるか、地域の方々のご意見もお伺いしながら考えたいと思います。人と農地の橋渡しになればいいなと思っています。

将来



平成31年度 伊達市農作業賃金標準額表

平成 31 年 4 月 1 日

伊達市農業委員会

作 業 区 分		単 位	標準額	備 考
臨 時 雇	一般作業	1 日	6,400円	水田、畑、果樹等の一般作業、1 時間当り 800円
	果樹の剪定	1 日	11,200円	1 時間当り 1,400円
	摘蕾・摘花果	1 日	6,400円	1 時間当り 800円
	柿の皮むき	1 時間	800円	
	あんぼ、にら等袋つめ	1 時間	800円	
	立木等伐採	1 時間	1,500円	機械燃料持込
	果樹防除オペレーター	1 時間	1,500円	
袋かけ もも・りんご・ぶどう		1 日	6,400円	1 時間当り 800 円（二重袋、ぶどう棚等状況に応じ調整）

1. 昼食含みません。
2. 作業時間は8時間を基準とします。
3. 労働能力（年齢・経験など）を勘案する場合は、当事者間で調整してください。
4. 最低賃金が毎年 10 月に見直されます。作業賃金はその額を下回る場合は最低賃金の額に読み替えてください。

作 業 区 分		単 位	標準額	備 考
請 負 作 業	水 耕起	ロータリー耕	10 a	7,000円
		プラウ耕	10 a	8,000円
	代かき	10 a	7,000円	植代まで
	畦めり	1 m	60円	
	機械による田植	10 a	7,500円	角植え別
	バインダーによる稲刈	10 a	8,000円	角植え別
	コンバイン	10 a	30,500円	乾燥調整を含む、角刈り別、結束は 1,000円増し
	ハーベスタによる脱穀	10 a	8,200円	
	乾燥調整（もみすり）	玄米 60kg	2,000円	
	もみすり	玄米 60kg	1,000円	
畑	耕起（ロータリー耕）		10 a	7,000円

1. ほ場条件は、基盤整備後の平坦地の乾田を標準としています。
2. 未整理地は、作業能率などを勘案して当事者間で調整してください。
3. 請負作業単価には、消費税は含まれておりません。別途計上してください。

※この標準額は、平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで適用となります。目安としてご利用ください。

平成 21 年 12 月 15 日に改正農地法が施行され、標準小作料は廃止されましたが、地域における賃借料の目安として、農業委員会で農地の賃借料情報を提供することになっています。
農地の貸し借りをする場合は、下記の賃借料情報を参考に双方で協議願います。

伊達市賃借料情報

平成 30 年 1 月から 12 月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10 a 当り）は、以下のとおりとなっております。

地 域	区 分	平 均 額	最 高 額	最 低 額	データ数	備 考
伊達地域	田	8,200円	15,700円	4,900円	19	
	畑	8,600円	16,700円	3,000円	74	
梁川地域	田	8,600円	14,500円	3,000円	122	
	畑	10,100円	15,900円	4,000円	162	
保原地域	田	9,800円	15,200円	4,400円	126	
	畑	9,600円	18,100円	3,700円	90	
靈山地域	田	9,600円	15,400円	3,500円	25	
	畑	6,900円	10,000円	2,900円	16	
月舘地域	田	10,700円	15,900円	4,400円	34	
	畑	5,000円	7,500円	2,400円	7	
伊 達 市	田	9,300円	16,000円	3,000円	331	
	畑	9,500円	17,000円	3,700円	349	

- *1 データ数は、集計に用いた筆数です。
- *2 賃借料を物納支給（水稻）としている場合は、60kg 当り 14,000 円に換算しています。
- *3 金額は算出結果を四捨五入し 100 円単位としています。
- *4 実情に即した情報提供のため、区分毎に、全賃借料データの平均値の ±70% を超えるものを除いています。

～ 農業委員会事務局移転のお知らせ ～

農業委員会の事務室が移転しました。

伊達市役所本庁舎増築棟の完成に伴い、保原本庁舎及び梁川分庁舎の各事務室が移転し、1月4日から本格稼働しています。

これまで梁川分庁舎に配置されていた農業委員会事務局の事務室も、仮移転の期間を終えて、2月25日より伊達市役所本庁舎中央棟2階での業務を開始しました。

お手数をおかけしますが、来庁またはお電話をお掛けの際には、お間違いのないようご確認をお願いします。

◆移転先

伊達市役所 本庁舎

〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋 180 番地（中央棟2階）

TEL024-573-5623 FAX024-573-5874



～ 国民年金に加入している農業者のみなさんへ ～

少子高齢時代でも 安心・有利な 農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、年間60日以上農業に従事する、国民年金の第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）で、60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。

農業者年金のメリット

- ☆農業者なら広く加入できます
- ☆積立方式・確定拠出型で少子高齢時代でも安心です
- ☆保険料の額（月額2万円～6万7千円）は自由に決められます
- ☆終身年金で80歳まで保証つきです
- ☆公的年金ならではの税制上の優遇措置があります
- ☆一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助があります

視察研修 今後の活動に役立つヒントが見えた

伊達市農業委員会では毎年、視察研修を行っています。今年度は昨年11月27日から28日の2日間の日程で栃木県を訪れました。

1日目は、日光市農業委員会へを訪れ「農地の利用・集積」「人・農地プラン作成」など、農業全般について意見交換を行いました。日光市においても、伊達市と同様、遊休農地解消や後継者の問題、又は原発事故による風評被害など、様々な問題を抱えており、市と農業委員会が一緒になって出来るだけ早く取組まなければならないと感じてきました。

(高橋敏明推進委員)



JAはが野真岡宮農センターにて

2日目は、JAはが野真岡地区宮農センターを視察しました。こちらは、収穫されたイチゴをパッケージし出荷を行う施設です。この施設で青果物の荷作り作業を行うため、農家は農作業の約6割と云われる荷作り作業を省くことができたメリットがあります。また、コンピューターによる施設管理、不足している労働力不足のため、外国人労働者の雇用など、他産地との競争力強化、コスト削減を行っているとのことでした。伊達市においても、4年前からきゅうりの機械共選による箱詰め、あんぼ工房での袋詰めが行われています。年々利用者が増え、特にきゅうりは、伊達地区生産の半分以上が機械共選による箱詰めになると思われます。

2日間の日程でありましたが、今後の農業委員会活動に大変、参考となり、意義のある視察研修となりました。

(三浦雄一委員)

農業委員会大会 農地利用等の具体的な取り組みや事例発表

平成30年度の県下農業委員会大会が昨年11月13日、福島市飯坂町の「パルセイイざか」において開催され、清野会長ほか農業委員18名、農地利用最適化推進委員16名が参加しました。

本大会は、県内の農業委員・農地利用最適化推進委員が一堂に会し毎年開催されるものです。

今年度は、県内2つの農業委員会での農地利用の最適化に向けた具体的な取り組み、遊休農地対策についての事例発表が行われ、福島大学行政政策学類教授による「農業・農村の活性化に向けた農業委員会への期待」と題しての記念講演も行われました。

大会では、各種表彰も行われ、本市からは、次の方が受賞されました。

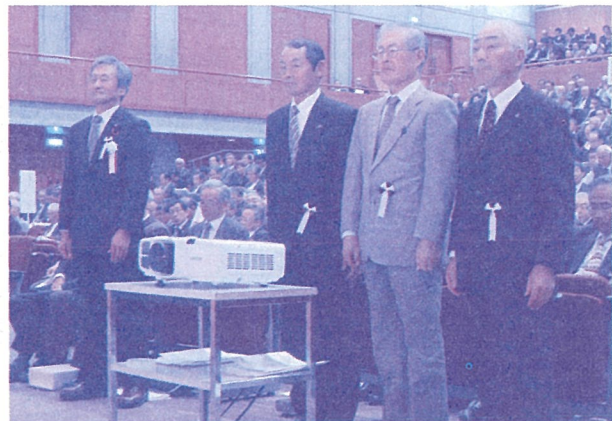
◆永年勤続農業委員会会長

(会長職9年以上在任)

清野 直人会長

◆永年勤続農業委員

(12年以上在任)



左より、清野直人会長 / 阿部忠幸委員
土屋洋一郎委員 / 三浦雄一委員

阿部 忠幸委員
土屋洋一郎委員
三浦 雄一委員
小賀坂重春前委員(6月30日退任)
幕田 繁前委員(6月30日退任)
酒井良子前委員(6月30日退任)
事務局からは、平成31年度農業予算に関する意見書についてと本県農業に関する要請についての報告なども行われ、最後に「ガンバロウ三唱」で盛会のうちに終了しました。

意見書提出

昨年10月23日、伊達市農業委員会は、須田博行市長へ、「平成31年度農業施策に関する意見について」と題して意見書を提出しました。

これは、農業委員会等に関する法律の規定に基づき、次年度の予算編成時期に合わせて毎年行っているものです。

内容については、今の日本の農業をとりまく状況、環境等から、農業委員会制度関係や耕作放棄地の発生防止、解消対策など、また東日本大震災、それに伴う原子力



清野会長より須田市長へ

災害など、現在の農業が置かれている状況を幅広くまとめた内容になっています。

1 農業委員会制度関係について

(1) 農地行政の基本となる農地台帳の整備・補正等を行うための予算、人員の確保

(2) 農業委員会活動の情報発信のための予算確保

2 耕作放棄地の発生防止・解消対策について

・「人・農地プラン」など、地域での話し合いへの積極的な関与

・耕作放棄地を解消した際の補助金の上乗せ、市独自の事業を要望

3 農業後継者、担い手支援について

(1) 農業経営、運転資金に対する支援、相談機能の充実

(2) 実践的研修の場の提供等、体制の整備、新規就農者の育成

(3) 女性農業者への支援、6次産業化への取組への支援

(4) 農業後継者、新規就農者への

市独自の支援対策

(5) 農業後継者の結婚支援策

4 原子力災害対策について

(1) 東電福島第1原発の一刻も早い事故処理と賠償金支払いの関係機関への働きかけ

(2) 農用地、ため池、水路等の除染の早急な実施、継続的なモニタリング調査の実施

(3) 除染作業で排出された廃棄物の処分について、県、国へ早急に行うよう働きかけを行うこと

(4) 風評被害の払拭、学校給食への地場食材の利用の拡大

5 鳥獣被害防止対策

・鳥獣捕獲駆除計画の策定や捕獲隊員の確保と後継者に対する助成

・電気柵、捕獲檻等設置助成に対する事業予算の確保。国、県の補助に対する市予算の上乗せなど

編集後記

今年（2019）は、平成から新しい年号になります。このところ、平成最後の〇〇会、〇〇の日とか、良く聞かれるようになりました。農業委員会も平成28年4月に改正農業委員会法が施行されて、昨年7月より農業委員19人、農地利用最適化推進委員24人の全43人での今期体制となりました。

まだまだ不慣れの体制であります。が、社会情勢が目まぐるしく変わる世界状況の中で、国から地域への方針から、政策にあつた農業基盤を求めて、経営改善を追求し、作物の信用と信頼を第一にして、正しい情報を収集するのがとても大切と感じています。

「平成」の名と、うちはうに災害の多い時代と言われているようです。災害のない平和な時代づくりの一員として農業委員会も参加し、これからの農業行政、方針などを掲載して活動していく覚悟です。

皆様のご意見、ご要望をよろしくお願いいたします。（浦山公一委員）

◆編集委員

吉田 浩重委員（伊達地区）
三浦 雄一委員（梁川地区）
浦山 公一委員（保原地区）
大橋 吉成委員（靈山地区）
高橋 敏明委員（月館地区）
菅野 照委員（靈山地区）
大武 有子委員（靈山地区）
清野 直人委員（会長）
阿部 忠幸委員（委員長）